

## 平成25年産(24年播種) 麦類生育概況

長野県農業試験場 作物部

調査月日	項目	大麦:ファイバースノウ			小麦:シラネコムギ		
		平年	平成24(播) ~25年(産)	平年比	平年	平成24(播) ~25年(産)	平年比
出芽期 (11月30日)	出芽数 本/m <sup>2</sup>	157	138	88	150	167	111
越冬前 (12月14日)	草丈 cm	11.7	10.2	87	14.4	15.7	109
	茎数 本/m <sup>2</sup>	527	313	59	486	413	85
	葉数	4.4	3.5	-0.9	4.3	3.5	-0.8
越冬後 (3月4日)	草丈 cm	12.0	10.5	88	14.6	14.0	96
	茎数 本/m <sup>2</sup>	933	566	61	977	710	73
	葉数	6.2	5.2	-1.0	6.5	5.5	-1.0
3月15日	草丈 cm	13.6	11.0	81	15.8	14.5	92
	茎数 本/m <sup>2</sup>	1204	806	67	1237	873	71
	葉数	7.6	6.5	-1.1	7.5	6.4	-1.1
幼穂形成期		3月1日	3月11日	+10	3月21日	3月21日	+0
茎立期		3月26日	3月21日	-5	4月5日	3月29日	-7
出穂期		5月3日	5月9日	+6	5月10日	5月14日	+4
成熟期		6月12日	6月13日	+1	6月25日	6月24日	-1
成熟期	稈長 cm	95	97	102	88	87	99
	穂長 cm	4.9	5.0	102	8.4	8.5	101
	穂数 本/m <sup>2</sup>	502	573	114	548	597	109
収量	子実重 kg/a	73.2	86.9	119	67.9	73.4	108
	容積重 g/l	726	716	99	820	808	99
	千粒重 g	38.9	38.3	98	40.7	37.9	93

※平年値は過去8年間における最大値と最小値と異常高温年の平成18年を除いた5カ年の平均値

### <耕種概要>

栽培様式: 30cm条間ドリル播

播種期: 大麦 平成24年10月25日、小麦10月25日 播種量: 7kg/10a

施肥量(N): 基肥 6kg/10a

### <生育概況>

**越冬前** 播種後11月は低温傾向で降水量は平年並で推移した。越冬前の生育は平年に比較して大麦は草丈が短く、茎数はかなり少ない。小麦は草丈は高いが、茎数は少ない。葉数は平年に比較して1葉程度少ない。

**越冬後** 越冬期間に低温傾向で推移し、降雪量は長野地域は平年並であったが、他の地域では平年より多くなった。低温の影響で生育は停滞し、大小麦とも平年に比較して草丈は短く、茎数は6~7割程度、葉数は1葉程度少ない。

**3月15日現在** 3月に入って高温傾向になったが、同日における平年対比の生育進捗は3月4日の調査結果と同様の傾向である。

**幼穂形成** 3月中旬以降も高温傾向が続き、大麦の幼穂形成期は平年より10日遅かったが、茎立期は5日早くなった。小麦は幼穂形成期は平年並で、茎立期は7日早くなった。

**出穂期** 4月中旬以降低温傾向となり、生育が停滞した。出穂期は大麦で平年より6日遅く、小麦で平年より4日遅くなった。4月22日は最低気温が氷点下まで下がり、一部で凍霜害が発生した。

**成熟期** 5月中旬以降高温傾向となり、生育が進んだ。稈長、穂長はほぼ平年並になった。また有効茎数の増加により穂数は平年より多くなった。6月に入っても高温傾向が続き、大小麦の成熟期はほぼ平年並となった。

**収量** 大小麦とも多収となった。容積重は平年並、千粒重は大麦はほぼ平年並となったが、小麦は軽くなった。6月中旬以降の降雨や倒伏が影響し登熟不良となったと考えられる。